

日時 : 令和6年2月21日(水) 16:00~17:30
場所 : 愛らんど4階 多目的ホール2
参加事業所: 今治障がい福祉課、今治市基幹相談支援センター、サスケ設計工房今治東、ここすた
かえでファーム、まんまるファクトリー、ステップ、ふきあげワークス、カイト今治
今治特別支援学校、のま、クリエイト21、就業・生活支援センターあみ、健心工房
マルクワークス喜田村 計15事業所

●福祉事業所見学の振り返りの共有・質疑応答

【ここすた】

【マルクワークス喜田村】

- ・両事業所の一般就労への送り出し実績やサービス提供の具体的内容、備品購入金額等について
- ・就労移行の業種について

●自立支援協議会運営会議での地域課題の共有

- ・自立支援運営会議は一連の流れで出た方が内容もわかりやすい、今年度はあみの河野さんが出席
- ・就労支援部会から2つの地域課題がでた
 - ①就労系事業所と就業・生活支援センター、計画相談との地域連携ができていない
 - ②アセスメントも含めジョブマッチングがうまくいかない
 - 就労事業所や各専門部会に出ている事業所が考えた方がいいのでは、という事で空欄になっている
- ・地域課題に対するアイデアは昨年度の部会で出た内容を記載、出来そうなことを話し合っている。
- ・地域課題を引き続き検討していく事が必要。何をしたいかを考えないといけない。

●来年度の就労支援部会で取り組みたい事

【グループA班議事録】

○来年度してみたいこと

- ・困難事例の検討。同じ困難事例に対して、事業種類(A型・B型・移行等)での対応方法について助言が欲しい。
- ・各地でイベントが開催されているので、一緒に参加して周知活動ができれば。
- ・生活介護事業所で委託業務を受ける際、低額で高い質を求められる。事業所ではなく部会で働きかけて価格交渉できれば利用者の利向上につなげられる。
- ・企業とつながる場(企業に参加してもらう場、企業に知ってもらう場)を部会で持ちたい。
- ・働く応援ガイド以外にもより詳しい情報を公開できれば。
- ・マッチングに向けた活動を(同じ特性でも企業により強みになる、マイナス評価になると判断が分かれる)。
- ・現状に満足し外に目を向けられない利用者が多いので、他事業所からの訪問によりモチベーションを上げる活動を行いたい。
- ・イベントなど知ってもらえる場を持ち啓発活動がしたい。他事業所とのコミュニケーションの場や、いずれは企業も一緒に参加できる場を作りたい。
- ・部会に企業を呼びたい。困難事例の情報交換を行い、お互いを知る機会を設けたい。

○その他意見

- ・イベントでの販売は種類が多いと買い手が迷って売れないことがあった。目的を明確にする必要がある。
- ・他の市では自立支援協議会や就労支援部会独自のHPを作っているところがあった。情報公開の場として有効では。
- ・部会に多くの事業所が参加できればいい。参加することへのメリットがあればもっと増えるのでは。

【グループB班議事録】

○見学、視察

- ・北条の三浦、新居浜の住友、西条など、市外の企業(特例子会社)を見学したい
- ・各企業の支援の繋がりを知りたい
- ・別事業所の視察

○勉強会

- ・困難事例の対応、事例検討
- ・SSTの取り組み
- ・学校として就労後に困る事を知りたい
- ・三浦ジョブを西条市が講師に呼び講演会をした、聞いてみたい
- ・松山には居住支援法人があるが今治はどうか勉強していきたい
- ・ジョブマッチングの時に、特性を理解してもらうためにどう書けばいいのか

○地域課題

- ・地域で自立して生活するために就労支援と居住支援の連携をどうしていくか

○物品販売

- ・就労フェアで部会のアピール、障がい者雇用や事業所の取り組みの周知、障がいへの理解も含め物品販売をしてはどうか
- ・就労支援事業部としてイオン等で販売会、里山スタジアムでFC試合時に販売会
- ・ふるさと納税に入れてはどうか